

肝・相談室～風だより～

～力を合わせて肝臓病を克服しよう～

Vo.1 2011/11

徳島大学病院 肝疾患相談室です

相談室からニュースレターを発行することとなりました。記念すべき第1回創刊です。相談室がどんなことをしているのかなど、いろいろな肝疾患・相談室などのNewsを届けたいと思います。これからよろしくお願いします。



内容

- 1 メンバー紹介
- 2 テラプレビルって？
- 3 JDDWで発表してきました

1 肝疾患相談室のメンバーです



徳島県のウイルス肝炎感染状況を把握し、治療が必要な方に適切なアドバイスができればと考えています。

ボス 島田教授



メタボは肝疾患の危険因子です。相談員として説得力を持たせるために、ダイエット宣言します。

室長 森本



事務 桑村

お目にかかる機会は少ないですが、予算管理・医療機関との連絡などを担当しています。



こんなこと聞いたらいけないんじゃない？
なんてことはありません。
お気軽に連絡ください。お待ちしております。

相談員 安部



2 C型肝炎の新しい治療薬「テラビック」をご紹介します

テラビックはウィルスの増殖に必要なプロテアーゼという酵素を直接阻害することで、ウィルスを死滅させる新しいタイプのお薬です。



お気軽に肝疾患相談室に連絡ください。

・従来の治療法と違う点

半分の治療期間で、今まで以上の効果が期待できる。

今まではインターフェロン製剤とリバビリンを48週から72週投与でしたが、テラビックを最初の12週間上乘せすることで、治療期間が半分の24週で済みます。今までの治療で全く効果が無かった方の3人に1人にウィルスの消失が認められており、新たな治療機会が提供されます。

・注意する点

重大な副作用として、重篤な皮膚障害と貧血です。

十分に治療経験を積んでいる肝臓の専門医の先生がいらっしゃる施設で、かつ皮膚科の先生と連携がとれる施設でのみ投与するように国から指示されています。



3 JDDWに行ってきました



福岡県で開催されたJDDW(日本消化器関連学会機構)の
パネルディスカッション5

「肝拠点病院網と肝診療均てん化の現状課題」で
肝疾患拠点病院として徳島県の肝疾患診療の現状と
相談室の活動を発表してきました。

徳島県の現状

1. 高い肝疾患死亡率
2. 少ない肝臓学会専門医
3. 低い肝炎ウイルス検診受診率
4. 肝炎専門医療機関の不均等分布

徳島県の肝疾患診療

1. 現状
検診率の向上が必要
医療連携による質の高い医療の提供が必要
2. 相談室の活動
僻地への出張採血
顔の見える連携促進、患者カルテ作成
3. 今後の課題
隠れ肝炎の拾い上げ
連携バス(患者カルテ)使用率の向上

肝炎治療カルテ



肝疾患診療連携促進のために、患者様に携帯していただく
「肝炎治療患者カルテ」を作成しています。

準備ができましたら、おってご連絡いたします。病診連携強化のために是非ご活用ください。



発行 肝疾患相談室

☎ 088-633-9002

月～金(病院の休日を除く)

10:00～16:00(12時～13時除く)

ホームページ

URL:<http://www.tokudai-kanshikkan.jp/>

肝臓病の克服をめざして県民の皆さまと医療と行政が手を取り合いましょう。